

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	青少年の家	評価対象年度	平成20年度
事業者名	・事業者名 川崎市青少年の家共同運営事業体 財団法人川崎市生涯学習財団 理事長 小宮山健治 川崎市中原区今井南町514-1 ・構成員名 特定非営利活動法人 教育活動総合サポートセンター 理事長 井口 衛 川崎市高津区下作延1219-104	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部こども青少年部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 38,276人 (うち日帰り9,171人)	②年間延べ利用団体数 715団体 (うち日帰り267団体)
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 75,436,000 利用料金収入 13,943,550 ーその他収入 ー 2,132,390 合 計 91,511,940 2 支出 人件費・賃金 22,037,174 光熱水費 21,108,021 委託費 31,987,180 消耗品費 1,557,599 ーその他経費 ー 12,656,595 合 計 89,346,569 3 差引 2,165,371	
サービス向上の取組	利用料金収入等で収入を確保した上で、修繕費に充てるなど、効果的な経費の執行が見られるとともに、利用案内や封筒を自作するなどの経費節減に努めている。	

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	自主事業計画	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	3	3
	事業成果	予定していた事業が実施されているか	5	3	3
		計画的に行事等が実施されているか			
(評価の理由)					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	5	3	3
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか	5	4	4
効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか					
(評価の理由) 利用料金収入等で収入を確保した上で、修繕費に充てるなど、効果的な経費の執行が見られるとともに、利用案内や封筒を自作するなどの経費節減に努めている。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	3	3
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	3	6
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	3	6
		把握したニーズが事業運営へ反映されているか			
(評価の理由)					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
(評価の理由)					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	3
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	災害時の対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
災害発生時のマニュアル等が整備されているか					
(評価の理由)					

4. 総合評価

評価点合計	61	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点: 100点満点。評価ランク: 5段階評価

A: 90点以上 B: 80点以上90点未満 C: 60点以上80点未満 D: 40点以上60点未満 E: 40点未満

A: 特に優れている B: 優れている C: 適正である D: 改善が必要である E: 問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>指定管理以前から積み上げてきた生涯学習プログラムの実施や青少年向けプログラムの実施など、ノウハウを十分に発揮した事業展開を行っている。また、利用料金収入が予算を上回るなど、安定した収入を確保する一方で、経費削減に努めた取組も見られる。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>引き続き、専門性を発揮した生涯学習プログラムや青少年向けプログラムを実施すること。また、職員の資質向上に努めるべく、接遇研修をはじめ、各種研修を計画的に実施すること。</p>
